

教育班だより

気仙沼教育事務所 HP <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mskyoz/>

今年度が始まり2か月が経ちました。気仙沼教育事務所では、これまで4月24日の「教務主任研修会」を皮切りに、「研究主任研修会」、「児童生徒支援研修会」、「初任研（2年目）教育事務所研修」、「講師等研修会」、「初任研（1年目）教育事務所研修」を実施しました。受講者の先生方には研修会の趣旨を御理解の上、明確な目的意識を持って参加していただいております。今年度も受講される先生方のニーズに応じた各種研修会を企画、実施していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

4 / 24 教務主任研修会

本県の教育施策と教務主任の役割についての理解、学校課題解決のための情報共有を年度の早い段階で行うことをねらいとして、昨年度よりも時期を早めて開催しました。受講生の先生からは、「講話からは県の教育施策や教務主任の心構えを改めて知ることができた。」「年度の早い段階で他校の教務の先生方と顔を合わせて情報交換でき見通しが持てた。」「4月に様々な学校体制の整備をする中で、各校の悩み事や工夫点などを知ることができ、とても参考になった。」等、先生方が教務主任としての役割を自覚し、現場で生かそうとする意識の高さを感じました。



5 / 8 第1回研究主任研修会

昨年度の公開研究校である大谷幼稚園の木村はな先生、志津川小学校の村上美和先生、津谷中学校の小野寺瞬先生に実践発表をしていただき、その後、テーマ別の研究協議を行いました。「実践発表では校内研究に生かしていきたいと思うことが数多くあった。」「研究授業ごとに見えた課題をリレーしていくことや個別最適な学びをこれまでの一斉授業とどう使い分けていくかなど考えていきたい。」「職員全体でどのような子供たちを育てたいのか、そのためにどのような授業を行っていく必要があるのかを話し合いながら授業改善を進めていきたい。」「本日の研究協議で同じ教科の先生と情報交換、共有させていただき、たくさんお話が聞けてありがたかった。」等、一人一人が校内研究の推進に生かせることがないかを意識し、主体的に研修に取り組んでいました。



5 / 9 児童生徒支援研修会

児童生徒支援ネットワークの団体様から、各機関で取り組んでいる事業について情報提供をしていただきました。参加された先生方は、「今回情報提供をしていただいた内容を保護者や生徒に積極的に広めていきたい。」等、学校と家庭、関係機関がつながることの大切さについて実感されているようでした。

講話・演習では「いじめ問題と不登校支援」と題して、うみかぜ法律事務所の高橋拓弁護士から御講話をいただきました。「学校としての組織力がいかに大切だということを実感しました。」「法のもとに学校教育を行うことができる強みを十分に生かして、今後、教育活動を行っていきたい。」「いじめ発覚直後の事実確認時の注意点や加害生徒に対する指導・処分について、言い訳や反論があった場合や加害生徒が認めていない場合の留意点分かった。」等、広い視点から組織としての支援の大切さについて考える機会となったことがうかがえました。



5 / 22 初任研（2年目）教育事務所研修



所長挨拶では、「5月22日飲酒運転根絶の日」、「目指す教師像」、「課題研究に取り組むに当たっての心構え」についての話がありました。先生方の真剣に耳を傾ける姿に2年目としての成長が伝わりました。

先輩からのアドバイスでは、実践に基づいた具体的な発表を聞き、たくさんの質問が挙がりました。先生方からは「先輩教員の実践は、目指す児童の姿や手立てが明確であると感じた。自身のテーマは曖昧な部分が多く、手立て等を明確にして研究を進めていきたい。」「生徒に『分かる』『できた』を実感させるための様々な手立てを講じることの大切さや、アンケートで数値化することにより、明確に変容を見とることができていたので、私も取り入れてみたい。」等、学んだことを自身の研究につなげようとする意欲の高まりを感じました。